

小野学区連絡協議会

2020(令和2)年10月18日(日)

10:00 ～ 11:30

小野市民センター 大会議室

次 第

開会

会長挨拶

岩田和彦

自己紹介

報告

事務局 内田成康

庭山純忠

意見交換

閉会

- 資料 ① 「小野学区 さらなる新しいまちづくり」
② 「山中比叡平自治連合会まち協設立状況調査」
③ 小野学区自治連合会「2019年度活動報告」

2020.10.18

小野学区 連絡協議会



小野学区
自治連合会

1



小野学区自治連合会

小野学区 さらなる新しいまちづくりへ

開発以来40年が経過した
琵琶湖ローズタウン
少子化と高齢化など 多くの課題に
どう対応していくのか
行政と協働しつつ
わたしたちのまちを どう
発展させるのか 問われています

2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

2



小野学区自治連合会

小野市民センターから コミュニティセンターへ

- ・ 越市政から佐藤市政へ
- ・ 「大津市コミュニティセンター条例」へ
支所機能 公民館機能 防災機能 地域自治機能
- ・ 小野学区自治連合会と連絡協議会
関係団体

2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

3



小野学区自治連合会

「大津市コミュニティセンター条例」

市民センターのあり方
佐藤市長公約 内容を「見直す」

支 所	(現状：支所次長 減員のまま)	
防 災	(現状：情報集約)	←
公 民 館	(現状：生涯学習専門員)	←
地域自治	住民によるまちづくり	←

変わること 住民と行政の協働化
(コミュニティセンター化)

2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

4

公民館及びコミュニティセンター運営のパターンと人員体制

住民と行政の協働化

施設形態	運営形態	人員体制		委託料 指定管理料
		市	地域	
公民館	①市直営	・公民館長1名(兼支所長) ・生涯学習専門員1名	なし	なし
	②自主運営 試行	・公民館長1名(兼支所長) ・生涯学習専門員1名	あり【臨時職員(週2日) 1名雇用相当分】	約78万円
コミュニティ センター	③パターン 1	・コミセン長1名(兼支所長) ・生涯学習専門員1名	あり【臨時職員1名雇用相当 分】	約233万円
	④パターン 2	・コミセン長1名(兼支所長)	あり【臨時職員1名+嘱託職 員(週4日)1名雇用相当分】	約560万円
コミュニティ センター	⑤指定管理者	なし	あり【臨時職員1名+嘱託職 員1名雇用相当分】	約600万円

公民館の運営形態の中で、「②自主運営試行」
事業の意向確認です。

期限 5年後

5



小野学区自治連合会

2020(令和2)年度 活動方針

小野学区をふるさととして愛し、
住みつづけたくなるまちづくりに取り組む

1. 公民館とともに生涯教育を推進する。
2. 小野小学校の存続を図る。
3. 安心安全なまちづくりに努める。
4. 思いやり・助けあいのあるまちづくりに努める
5. 自然や歴史、環境保全を大切にする
まちづくりに努める。
6. その他の重要な事項
 - ① 北部4学区の連携を図る。
 - ② 住民の要望を集約し、その実現に努める。
 - ③ 情報の共有化を推し進める。 など等

2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

6



小野学区自治連合会

小野学区 さらなる新しいまちづくりへ

自治連合会から 連絡協議会へ

地域自治 防災 公民館 支所 高齢・少子化
福祉 防犯 小野小学校の存続/コミュニティスクール
体育・健康・文化・歴史(生涯教育・社会教育)
青少年育成 女性の人権 公共交通・交通安全
空地空家対策 環境保全・美化 など等

少子・高齢化、人口減少や安心安全なまちづくりなどの課題を克服するために、自治連を中心としながらその機能を、全住民及び関係団体の強い連携を新たな連絡協議会に組織化し、発展的に強化する必要がある。

2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

7



小野学区自治連合会

試行まちづくりのイメージ①

公民館(生涯教育・社会教育etc)の推進

1)公民館活動 生涯教育専門員(1名)

+ 臨時職員(週2日)

- ・月報の発行・HPの充実
(住民との情報の共有強化)
- ・住民と地域自治組織との恒常的接点

2)多様な可能性

+ 連絡協議会(自治連 & 関係団体)の深化

2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

8



小野学区自治連合会

試行まちづくりのイメージ②

防災システムの再構築(進化・充実)

1)情報集約と指揮系統

2)避難所開設と運営

具体的なシステムの構築

- どのような事態に ■ だれ(組織・人)が
- なにを ■ どうする? ■ その手順は?

2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

9



小野学区自治連合会

試行まちづくりのイメージ③

自治連 & 連絡協議会 ^{行政等との協働} 関係団体の連携深化

- ①福祉防犯カメラの設置計画 (2015~)
自主防犯との協働
- ②共用車の導入 (2016~)
自主防犯等との協働
- ③防災物品と食料備蓄 (2017~)
自主防災・社協との協働
- ④空地空家対策 (2020~)
自主防犯、司法書士等との協働

さらなる連携・協働化(連絡協議会へ)

2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

10



小野学区自治連合会

試行まちづくりのイメージ④

自治連の課題

運営委員会(連合会長・自治会長・副会長 +)

事務局(連合会長・志士 +)

連絡協議会関係団体の課題

組織の構成

屋上屋を重ねず

会則

2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

11



小野学区自治連合会

試行まちづくりのイメージ⑤

その他

①小野小学校

②空地空家対策

③本堅田真野線交通安全対策

都市計画道路3・4・21号本堅田真野線改良事業
3・4・53号

④学区体育祭(と運動会)のあり方

⑤江若バスの廃線・減便

2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

12



試行まちづくりのイメージ⑥ 参考

山中比叡平学区まちづくり協議会体制図



2020(令和2)年10月18日 小野学区連絡協議会【資料】

山中比叡平自治連合会まち協設立状況調査

文責 庭山

日時： 9月28日（月）14時 — 16時

場所： 山中比叡平市民センター2階大会議室

出席者： 山中比叡平まち協

会長・持田氏 事務局長・最上氏 臨時職員・高橋氏
小野学区

岩田自治連会長 内田朝日2会長 徳岡朝日2副会長
高野社協会長 伊藤自主防犯会長 庭山

目的： 大津市で最初にまち協に取り組んだ山中比叡平学区のまち協立ち上げの経過と現状、課題を調査し、小野学区まち協の構想策定と設立準備の参考とする。

山中比叡平学区：

自治会数 5

世帯数 1, 266

人口 2, 731（2020年9月1日現在）

自治会加入率75% 高齢化率42%（1151人）

自治会費 4, 200円/年 から 4, 800円/年

自治会からまち協への拠出は、自治会報償金を含めて一軒当たり
2, 050円であり、小野学区に比べて非常に高額。

まち協設立の目的

地域の人口減少・少子高齢化が進む中で地域がまとまって連携する必要がある。更に公民館のコミセン化を図り学区に活気を取り戻す為の前提条件として、まち協の立ち上げが必要であった。

まち協の現状

- * 2020年2月に設立したが、準備に2年を要した。
- * まち協はほぼ自治連合会が移行したもので、その為、屋上屋を重ねる組織にはなっていない。
- * 事実、自治連・まち協の会長・事務局長はいずれも兼任である。
- * 事務局は11名で構成（実質的戦力は5～6名）
- * まち協は単位自治会の会長、専門部会の会長、まち協役員、コミセン代表者など約25名で運営委員会を構成している。
- * まち協役員と単位自治会会長の会議は毎月行われているが、専門部会長などを交えた会議は隔月に行われている。
- * まち協の会員には非自治会員も含まれるが、非自治会員に対しては公共の配付物や防災関係の配付物を配るだけで、それ以上にまち協の活動に組み込むには到っていない。
- * まち協には専門部会が6つ置かれている。

防犯・防災専門部会、教育・生涯教育専門部会、健康・社会福祉専門部会の3専門部会には既存の関係団体が複数所属している。

残りの地域振興専門部会、環境専門部会、公共交通対策専門部会の3専門部会は新設されたもので、部会を担う人材は関係団体を含め、PTAや各種行事で頑張る人たちから見出している。

*現時点では、これら3新設専門部会は会則や、役員、予算、事業計画、総会などの独立組織としての機能を有しておらず、まち協下の部会組織である。

一方、従来の関係団体は、今も、予算、役員、事業計画、総会の機能を有していて、独立組織としての活動を継続している。

まち協と自治会や関係団体、専門部会の関係：

- *まち協と単位自治会との関係は、従来の自治連と単位自治会の関係準にしている。
- *既存関係団体は防犯・防災専門部会、教育・生涯教育専門部、健康・社会福祉専門部会の3専門部会に所属してメンバーとして活動している。
将来的には専門部会に統合したいが、未だ統合への明確なタイムスケジュールは持っていない。
- *関係団体は今も従来の、予算、役員、事業計画、総会の機能を持った独立団体であるが、新設の3専門部会は未だまち協下の部会組織である。
将来的には専門部会を予算、役員、事業計画、総会の機能を持った独立組織とし、関係団体はその中に取り込みたい。
- *3年後を目途に、大津市からの補助金は一括してまち協で受領し、専門部会に配分するようにしたい。
- *従来の連合自治会と単位自治会・関係団体の関係から、まち協、単位自治会と専門部会組織に移行したいと思っているが、移行は簡単ではなさそう。
- *まち協会長や事務局で大きな構想を描き、具体的な活動への落とし込みや実施は専門部会で行うイメージ？

コミセンについて

- *2020年4月設立済。
- *コミセンの運営形態は、運営業務委託のパターン2を採用。
- *公募で、常勤臨時職員の男性1名（自家営業デザイナー職で9時～17時勤務）と嘱託職員の女性2名（機関誌の編集、経験者で2人合計の勤務日が週5日）を採用。
- *コミセンで採用した常勤臨時職員の男性（嘱託職員の女性2名も？）はまち協の仕事もしているようで、大いに戦力になっている様子。
- *山中比叡平学区ではコミセンにおける社会教育運営への関心が薄い。
- *大津市からの委託料は約550万円。
- *数年内にNPO化の構想あり。
- *事業案として、花火大会の有料観覧席、有料テニスコート、「ふれあいあいの杜」でのバーベキュー等の開設が構想されている。

2019(令和元)年度 活動報告

小野学区をふるさととして愛し、
住みつづけたくなるまちづくりをしよう。

1. 小野支所及び小野小学校の存続を図る。

① 支所・公民館問題について

2017/11/24	大津市 支所機能の見直し案を発表
2018/ 2/ 5	大津市自治連合会 「全支所を残せ」と決議
2018/ 7/28	市民センター機能等のあり方検討に係る 市民意見交換会 (和邇文化センター)
2018/11/11	市民センター機能等のあり方検討に係る 学区意見交換会開催結果 (小野市民センター)
2019/ 2/ 1	市「市民センター機能等のあり方実施案」を提示
2019/ 2/28	「自治通信」発行(見直し案反対)

開館時間や証明発行など業務を縮減
市が見直し「実施案」を発表

2019.02.15	大津市市民センター再編 職員数4月から削減 人件費の圧縮を図る
2019.04.19	市民センター再編焦点 大津市議会議員選挙 市会「行政の信頼失う」
2019.09.04	大津市、コミセン移行案再提出断念 市会「行政の信頼失う」
2019.09.26	大津市市民センター再編 コミセン化時期変更 条例案撤回、再提出へ
2019.10.10	大津市市民センター再編 支所機能縮小1年延期 特別委で詳細説明へ
2019.10.17	大津市議会 議長、市長らに苦言 「信頼損なわれかねない」
2019.11.13	大津市議会 コミセン条例案を可決 大津市議会特別会議は13 日 公民館を「コミュニティ」に 再編案は、議決を断念

- 2019/ 4/ 1 大津市 支所の人員を強引に削減 抗議運動起こる
- 2019/ 4/19 大津市市議会議員選挙
- 2019/ 6/30 小野学区自治連合会『「市民センター機能等のあり方」についての質問状』市長及び市内全学区自治連合会長及び市会議員に送付もしくは手渡す
- 2019/ 6/30 「自治通信」発行
(大津市の「市民センター機能等のあり方実施案」への質問状と説明会の案内)
- 2019/ 7/ 9 大津市の「市民センター機能等のあり方実施案」の説明会(小野市民センター)
- 2019/ 7/19 大津市「小野学区質問状に対する回答」あり
- 2019/ 7/29 北部自治連「意見交換会」(真野市民センター) 圧倒的反対意見
- 2019/ 8/30 小野学区自治連合会「小野学区質問状に対する回答への意見」提出
- 2019/ 8/30 号外「自治通信」
(住民サービスの劣悪化に反対します)発行・市説明会の案内
- 2019/ 9/16 小野学区連合会『わたしたちの「市民センター機能等のあり方」』発行
- 2019/ 9/16 大津市「市民センター機能等のあり方実施案」第2回説明会
- 2019/11/13 大津市議会「コミュニティセンター条例」可決
- 2020/ 1/11 自治協働課 「コミュニティセンター」について説明会(自治連定例会)

2020/ 1/13 大津市長選挙 佐藤健司氏当選

朝日2丁目自治会HP < <https://www.onoasahi2.com/> > の

カテゴリー「小野学区自治連合会」にほとんどの資料があります。



支所問題については、2017年末以来、小野学区自治連合会は一貫して市の提案に反対し、大津市自治連合会と連帯してきた。18年度直前、一時凍結、従来通りの支所を存続するという事態を迎え、一見明るい見通しがあるかに思う人もあったがそれ以上の進展はなく大津市自治連合会内も膠着状態が続いた。2018年末、支所人事予算が削減されることが判明するや再び反対の声が高くなり、大津市自治連合会内でもやや紛糾する中、年度が変わるや、強引に支所の人員は削減された。大津市自治連合会は反対の姿勢を鮮明化し、越市長、市民部の提案にぐらつきが現れ始めた。

公民館問題と深く関連する「コミュニティセンター条例」は、9月議会に提案されたが紛糾。長期化して10月には議長が異例の苦言を呈するという事態にまで至った。可決されたのは、なんと、11月半ばであった。

小野学区自治連合会は4月以降、事務局を本格的に稼働させ始めた。最初の大きな作業は「市民センター機能等のあり方実施案」への「質問状」を作成すること。庭山氏の草稿は劣作であった。それを基本に「質問状」を完成させ、市に提出。35学区自治連会長に、さらに市議にも配布した。また拡散したとも聞く。それまで具体的で客観的、総合的かつ論理的意見が乏しかっただけに、この「質問状」は多くの市議、自治連会長から高い評価を得、大津市自治連合会などで内容の濃い議論が盛んになったのではないかと信ずる。小野学区では都合3回の説明会を開催。住民の関心も昂まったようである。

1月、大津市新市長が誕生した。市長は「市民センターについては、支所機能を含めて維持していきたい。防災機能についても、市民センターを地域の防災の拠点として維持していく」と各所で言明している。今後もこれまで通り、自治連合会としてしっかりと対処していくつもりである。

「コミュニティセンター条例」が制定されたというものの**公民館問題**が解決したわけではなく、市としても、新市長のもと支所機能等と併せて内容の再考が進められる模様である。小野学区自治連合会は従来どおり、公民館の特例的運用としての市民センターのあり方を現実的に捉えていくこととする。

この1年、支所、公民館問題に終始した感がある。

② 小学校の存続について

コミュニティスクール(住民参画型学校) 正式名称「小野小学校学校運営協議会」

「大津市立小中学校規模等適正化ビジョン基本方針について」(2016年2月29日更新)

<http://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/57/kihonnhouinn.pdf> 大津市HP

2016/ 1/17 大津市教育委員会 学校規模等適正化ビジョン説明会(住民意見)

<http://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/57/0117.pdf> 大津市HP

2016/12/26 「小野小学校の将来を考える懇談会」発足

2017/ 9/13 「小野小学校の将来を考える会」に改名

2017/10/17 「小野小学校学校運営協議会」準備会 発足

2019/ 1/18 「小野小学校の将来を考える会」組織変え

●「学校協力者会議」のメンバーを中心に校長をはじめ保護者や元校長、自治連合会(自治会)、地域関係団体などで構成。●「できる限り小野小学校の存続を図る」ことを確認。かつ、教育行政が進めようとしている学校の規模見直し施策に向けた対応・対策のためだけでなく、地

域住民として「こうであってほしい小野小学校」、その「子ども像」を大切に、地域住民が積極的に学校教育に参画(コミュニティスクール)して、小野小学校教職員とともに「魅力ある小学校づくり」を目指すこととした。●「小野小学校学校運営協議会(準備会)」は教育委員会、校長の方針に則って、地域参画型の「魅力ある小学校づくり」を目指していく。●「小野小学校の将来を考える会(協議会)」は「できる限り小野小学校の存続を図る」ための交渉を進めていく。

2019/5/20 第1回「小野小学校学校運営協議会」

2019/11/8 第2回「小野小学校学校運営協議会」

2020/3/25 第3回「小野小学校学校運営協議会」

この一年間で30近くの事業、延べ500人に達しようかという多くの住民の参加を得ました。

今年の大きな企画は「ふれあい広場」。週1回(水曜日)だけではあるが子どもたちとの遊びを通してここを通わせられたとしたら楽しい出来事だといえる。回毎に少しずつメンバーが増えている。昨年失敗した「さつまいも作り」は改善を試みて多くの歓声と収穫を得、マラソン大会ではこちらが感動のプレゼントを頂き、植えた花々は美しく校庭を飾ってくれていた。お話会やお話広場はすっかり定着して20回にも及びます。クラブ活動(コンピューター)も13回協力しました。

第2回運営協議会では先生方と膝をつき合わせて子ども達について協議し、意思疎通を図り得たと思います。今後の、地域住民の関わり方に示唆があり、年に1度は意見交換の場が必要でしょう。



課題は、小野小学校の特徴的な取り組みを実現することでしょう。書道や英語教育を柱にするのも良いでしょうし、AI教育に力点を置くのも考えられます。しっかりと協議したいものです。

小野学区自治連合会は「小野小学校学校運営協議会」幹事会での協議・要請を受けてしばしば広報など協力を惜しまなかった。

子ども達の安全を守る取り組みは常に第一義的に考えて行きます。

「小野小学校の将来を考える会」

幹事会を1度だけ持ち、自治連合会及び各自治会内において「小野学区にとっての小野小学校の意義」をテーマにワークショップを実施するとの提案を受けて秋10月より対応してきたが重要議案が続き、朝日2丁目で試行したにとどまり、実施、進展、深化を見なかった。今後、総合的な判断からの広い意見交換を早急に行う必要がある。

教育委員会学校教育課との会談(2019.11.6)

近況の意見交換を行った。直ちに小野小学校の統廃合問題を協議することはない旨、即ち「地域住民の意思を無視して小野小学校の統廃合を行うことはない」姿勢を堅持し、現状の課題について丁寧な教育的議論を踏まえて対処していくということであった。

2. 安心安全なまちづくりに努める。

各自治会とも関係各団体との諸行事・事業に協力した。今後とも一層横断的に連携を深めていくことによって地域は活性化すると考える。

詳細は各団体の総会資料等を 参照してください。

① 防犯・交通安全

- ・各自治会防犯・交通安全担当の委員を中心に協力
- ・子ども安全リーダーやスクールガードと、また自主防犯推進協議会や交通安全協

会小野支部などと協力

- ・ 大津北警察署防犯連絡協議会のもと協働
- ・ 毎月、また緊急的に防犯啓発に協力
- ・ 防犯カメラの定期点検に協力
- ・ 警察要望の際の立ち会い(防犯カメラ)に協力
- ・ 青パト隊員などの募集に協力
- ・ 地域活動共用車(青パト)を活用
- ・ 看板「まもろうくん」の保守点検実施
- ・ 防犯カメラ現在 11 基稼動

② 防災

- ・ 各自治会防災・安全担当の委員を中心に協力
2019/7/15 防災研修会(小野支所)
2019/9/15 大津市総合防災訓練(藤尾小)
2019/10/27 防災訓練(小野小) 多数の参加者あり
- ・ 防災機器の充実への助成
- ・ 「小野学区安心安全事業基金」による5ヶ年計画に従う募金活動を実施
- ・ 「比良ゴルフ倶楽部」広域避難場の入り口門扉とその周辺の除草(朝日2丁目「美しくしよう会」のメンバーによって実施)
- ・ 将来の小野消防分団結成を目指して団員の募集を継続するもほとんど進展せず
今後のあり方について、行政・消防団として近いうちに結論を出す予定
- ・ 台風19号(10/12) 警報発令に伴い避難所設置(小野支所) 解除のため半泊
- ・ 2019年3月22日以来、県土木事務所・危機防災課との会合なし



③ 2017/7/10 「安心安全事業基金」設置(小野学区自治連合会)

「小野学区安心安全事業基金」規約

第1条(目的)

安心安全なまちづくりと住民のよりよい生活環境の維持向上を促進する。

防犯カメラ (第一期計画 完了)

- ・ 本年、2基増設。
- ・ 県警からの貸与品と「安心安全事業基金」カメラを合わせて、11基となる。
- ・ 計画の立案、実施は一貫して小野学区自主防犯推進協議会(会長和田)が立案し、

- 小野学区自治連合会で協議・実行した。
- ・設置場所は議案書最後に付表としてP 2 2に添付しています。

防災用備蓄物資（第一期計画 3年目）

- ・5年間で、100人が3日間の避難生活に対応できる防災用物資を備蓄する。
- ・飲料水・保存食については2年目から小野学区社協が支援することとなる。
- ・計画の立案、実施は一貫して小野学区自主防災会(庭山)が立案し、小野学区自治連合会で協議・実行した。

非常用5年保存飲料水2Lボトル90本



非常用トイレ・テント2セット



非常用5年保存非常食100食

3. 思いやり・助けあいのあるまちづくりに努める。

各自治会とも関係各団体との諸行事・事業に協力した。今後とも一層横断的に連携を深めていくことによって地域は活性化すると考える。

詳細は各団体の総会資料等を 参照してください。

① 福祉（詳しくは小野学区社会福祉協議会の総会資料などをご覧ください）

- ・各自治会の福祉委員を中心に協力：多くの事業実績は高く評価される
- ・小野学区防災訓練に参加・協力
- ・民生委員・児童委員協議会に協力（本年は改選期）



唐招提寺を訪ねて



志賀いきいき祭



寺子屋



福祉のまちづくり公開講座

② 青少年育成（小野学区青少年育成学区民会議）

- ・「志賀わがまちづくり市民運動推進会議・地域子育て推進協議会」担当
- ・総会・「家族ふれ愛フェスタ」・『わが家のルール』づくり・「比良山麓子ども会議」を主管。「輝け志賀っ子」を発行。



- ・あいさつ運動の推進

志賀わがまちづくり市民運動推進会議「地域子育て推進協議会」は大津市では独特

の北部4学区組織であり、発足から8年になる。地域の子どもをいじめや暴力、犯罪から守るだけではなく子どもたちの声を聞き、ともに安心安全で住みよいまちづくりを推し進めようという願いを基本とする組織です。夏に行っていた「山麓こども会議」は猛暑を避けて、11月30日に「家族ふれ愛フェスタ」としてまとめて実施した。

③ 文 化 祭・生涯教育

(公民館・人推協・文化協会・小野シニアクラブ会などを中心として)

- ・人推協の春・秋の集会に参加
- ・多種多様の取り組みは大津市内でも屈指(公民館)

④ 住 環 境(ごみ減量と資源再利用推進会議など)

- ・リサイクルフェア(和邇体育館)に協力・参加
- ・ノーポイ運動に参加(和邇平和堂)

⑤ 女性活躍(小野学区女性会)

- ・志賀女性大会及び防災訓練に参加

⑥ 体 育 祭(小野学区体育協会を中心として)

- ・前日降雨
当日グラウンドコンディション最悪のため中止
体育館にて実施



秋の集会



文 化 祭



体 育 祭

4. 自然や歴史、環境保全を大切にするまちづくりに努める。

① 市民一斉清掃

- ・多数の参加者のもと美化活動が無事に終える。



② 小野妹子公園整備事業

- ・例年どおり「水一をきれいにする会」がツツジなど250株を植樹した。
- ・小野小学校の桜は水明1丁目自治会が継続管理している。

③ まんだら山再生事業

- ・朝日2丁目「美しくしよう会」はクヌギなど10株を植樹するとともに雑木伐採、除草を行い、山道と周辺の再生に取り組んでいる。



④ 小野妹子祭への協力

- ・妹子祭や書道展実施に当たって事前準備などへの参加協力を行った。書道展でも多数の役員が準備と撤収に協力した。





小野妹子のふるさと歴史・散歩
「古墳時代の和邇氏」
「小野妹子のふるさと歴史」
11月3日(文化の日) 9:00~

9:00~ 歴史講座「古墳時代の和邇氏」
講師 丸山浩平氏(同志社大学文学部教授)
会場 小野妹子センター(和邇神社のすぐそば 和邇神社の裏山 小野妹子園)
受付 8:30~ (無料資料館・事前申込不要)

10:30~ 歴史散歩
小野妹子神社・西田山古墳・小野妹子神社・
石上神社・小野妹子神社・小野妹子神社・天満神社など

両方の講座を聴きたい方はお申し込みください。
大人数の場合は別途お申し込みください。
お問い合わせ 077-59413073

主催 小野妹子のふるさと和邇実行委員会主催の
「歴史文化旅行」もお申し込みください

⑤ 散歩を実施

妹子祭協賛事業

歴史講座は50名を超え、多数の方々の熱心に聴講する姿が印象的であった。諸経費は大津市の助成を受ける「わがまちづくり市民運動推進会議」からの30,000円を原資にして実施。助成がある限りつづけたい事業である。

5. その他の重要な事項

- ① 北部4学区の連携を図ると共に、関係団体との連携を深め、まちづくりの協議協働を推進する。

湖西線和邇駅 初の折返し

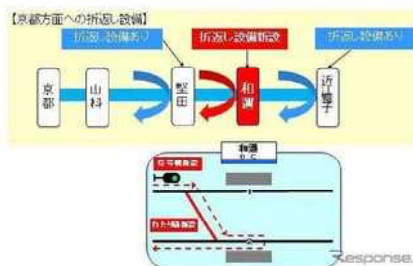
※2019年(平成31年)3月堅田・京都方面に折り返し設備が新設
※台風10号による和邇折り返し電車
京都方面からの和邇到着
JR西日本/産経WEST/京都新聞



1本の短い線路ができることで、その列車は下り線から右側の上り線に入る路線の利便性を飛躍的に向上させることがある。今春JR湖西線の和邇(わに)駅南側に新たに敷かれた線路もそれだ。下り線から上り線に移れるようにした「渡り線」だが、京都方面からやってきた列車が和邇駅で折り返すことを可能にした。比良山系から琵琶湖へ強く吹く「比良おろし」の影響を受けやすい湖西線の運転見合わせ区間の縮小に役立っている。

8月14日、JR西日本は台風10号の接近を受け、15日の各線の運転計画を発表した。その中で湖西線は和邇-近江塩津間が終日運転見合わせで、運行は京都-和邇間となった。

これまで、和邇駅以北が強風などで運転できない場合、京都からの列車は堅田駅止まり。



堅田駅以北で、京都方面へ列車が折り返せる駅が近江舞子駅までなかったからだ。今回、渡り線による折り返し設備が新設されたことで、非常時の運行区間を堅田駅より2駅北の和邇駅まで確保。実際に15日、和邇駅折返しは15本(堅田駅折返しは28本)という実績を残した。

湖西線の下り列車に乗り込み、運転席かぶり

つきで渡り線を確認した。堅田駅を過ぎ、次の小野駅を出てしばらく走ると、進行方向右側の上り線にポイント切り替えでつながる線路が現れた。和邇駅で折り返す場合は、ここで上り線に入り、上下線を逆走する形で和邇駅の2番線に到着。反対の京都市行きとなり、列車は今来た上り線を走行していくという仕組みだ。

上下線や別路線同士をつなげる「渡り線」「連絡線」は長さでいえば数メートルから数百メートルだが、その効果は絶大といえる。現在は近江塩津駅で新快速が同じホームで乗り換えられるなど、整備が進んだ「琵琶湖環状線」だが、その始まりは平成3年、同駅にできた渡り線。北陸線と湖西線の相互運行が初めて実現した。

年来の希望、ここに実現。

J Rへの要望

長年の要望(北部4学区連合会長の連名で行政などに文書提出)は本年も利用者数の減少を理由に、構内のバリアフリー化、エレベーターの設置について希望をもてる回答を得なかった。

小野学区は「プラットホームの暴風雨壁の設置」や「プラットホームの拡幅」を要望するも我慢して欲しいとおおむがえし。小野妹子公園にトイレを設置する要望もその方針なしとの回答。

「志賀ふれあい夏祭り」

毎年8月3日に行われる「志賀ふれあい夏祭り」は、猛暑の中実施されたが、多くの参加者をみた。規模は昨年より縮小された。次年度から北商工会議所が関与しないことが決定しているため、祭は実施されない見込みである。

② 住民の要望を集約し、その実現に努める。

小野学区は「プラットホームの暴風雨壁の設置」や「プラットホームの拡幅」を要望するも我慢して欲しいと例年通りのおおむがえし。小野妹子公園にトイレを設置する要望もその方針なしとの回答。

③ J R「小野」駅の名称を「小野妹子」駅とする運動を起こす。

特に運動らしいことは行えず。小野学区らしい、ささやかでも元気づけられるような企画(子ども達のためのイベントなど)を積み重ねることが必要であろう。事業の積み重ねが前提。

(滋賀県選出の国会議員に挨拶程度の意向は伝えた。)

④ 情報の共有化を推し進める。

可能な限り「自治通信」を出し、住民に情報を提供した。35自治連合会長、市議などにも小野学区の考えを拡散したことは特筆できる。一層の充実を目指す。

⑤ 比良ゴルフ倶楽部の落葉・倒木について交渉する。

台風19号の被害が、特に水明2丁目との境界部で倒木がひどく、荒廃。倶楽部支配人らと実地検分し、早急の対処を約す。境界のフェンス沿の樹木を大規模に伐採、住民が植えたアカシアなどと雑木の伐採。及び朝日2丁目の高木の整備(落葉対策)を近々に実施すると。しかし、本年の予算が尽きたことにより朝日2丁目の件は次年度に処理したい旨の連絡あり。強く約す。

⑥ 自治連合会費の値上げを協議する。

① 今日まで自治連合会長に対する渉外費に類する予算なく、すべて自己負担で賄われてきた。内田会長は、前・田中会長による会費値上げの同提案説明に反対したいきさつがあり、反省の思い募り、今年を以て退任するに当たって、自治連合会の健全かつ安定的な活動のため、かつ次期会長に業務を引き継ぐに、現状ではお願いできないという。なんとしても保障すべき。

② 本来支給してしかるべき交通費もあまりにも不十分。せめて実費に近い額を保障

すべき。

決定は各自治会の採決を待ち、6自治会の多数を以て決す。

⑦ 遣隋使小野妹子祈念 陶板画再生

3年前、JR が構内改修を理由に小野駅の遣唐使船の陶板を撤去した。大津市が引き取る意思を示さないためにやむなく会長独断、支所長了解のもと、支所大会議室に引き取り、保管。まもなく生涯学習課が再掲に努力するとの約を得る。

しかし公民館機能の見直しの過程で、市民部が生涯学習課を指導(?)するということんでもない方針転換があって、生涯学習課の動きは鈍く、容易には実現の見通しが立たなかった。

本年度当初、具体案を検討して市民部に要望するとともに、しばらくして濱奥氏に初めて支援を依頼。少しずつ前向きの反応が兆し、11月には、年度末か次年度はじめに設置との方針がほぼ決まる。市長選の結果のせい、3月下旬直前、突然、市民部自治協働課より実現化の話がもたらされた。嬉しいドタバタ劇であった。

3月28日、「遣隋使小野妹子祈念 陶板除幕式」実施。

参考：協力・参加した関係団体や諸事業（一部）

小野学区自治連合会(総会・定例会・説明会・各種会談) / 大津市自治連合会(例会・研修会・意見交換会・地区意見交換会) / 大津市自治協働課など各課 / 大津市防犯協会 / 大津北警察署防犯連絡協議会・研修会 / 小野学区自主防犯推進協議会 / 暴力排除推進協議会 / 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会 / 「暴力団追放滋賀県民大会」 / 大津地区総決起大会 / 地域安全連絡所代表者研修会 / 「交通安全地域総ぐるみ運動推進会議」 / 大津市自主防災会 / 大津市学区自主防災会長研修会 / 大津市学区防災研修会 / 小野学区自主防災会 / 志賀地区自主防災研修会・情報交換会 / 北消防署・志賀分署 / 大津市消防出初式 / 小野学区社会福祉協議会(総会ほか「長寿を祝うつどい」・募金など多種事業) / 民生児童委員・民生委員連絡協議会 / 志賀健康いきいき祭 / 小野児童館まつり / 青少年育成区民会議 / 小野学区「人権・生涯」学習推進協議会 / 人権を考える大津市民のつどい志賀ブロック集会 / 大津市北部学区体育団体連絡協議会 / 小野学区体育協会 / 小野学区区民体育祭 / 小野学区文化協会 / 小野学区文化祭 / 4学区合同文化祭 / 志賀ブロック地域女性団体連合会 / いきいきサロン・老人会 / 子ども会 / 大津市役所いじめ対策推進室 / 志賀南幼稚園「協力者会議」 / 小野小学校「学校運営協議会」・各種取り組み / 志賀中学校「協力者会議」 / 大津北交通安全協会 / 「全国交通安全運動」 / 志賀わがまちづくり市民運動推進会議・地域子育て推進協議会 / 比良山麓子ども会議 / 愛のパトロール啓発活動 / 小野妹子お田植え祭 / 小野妹子神社大祭 / 小野神社奉賛会「しとぎ」大祭 / 「遣隋使小野妹子のふるさと和邇」事業実行委員会 / ごみ減量と資源再利用推進会議 / リサイクルフェア / ノーポイ運動 北部ブロック / 男女共同参画をすすめる市民フォーラム / 大津市女性大会 / 大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会 / 社会就労センターあおぞら / 「ふれあい志賀夏まつり」実行委員会 / 和邇すこやか相談所・事例検討会 / 琵琶湖市民一斉清掃 / 志賀ブロック自治連合会 / 西日本旅客鉄道西日本京都支社要望 / 比良ゴルフ倶楽部 …… 等々